

猛 暑

10月に入ってもまだまだ厳しい残暑が続くが、それでもこの夏の暑さを考えると朝晩はかなり過ごし易くなった。しかし、今年の暑さは本当に異常であった。体温を超える連日の猛暑には正直本当にうんざりの毎日であった。子供の頃は、天気予報で「今日の最高気温は30℃」と聞いて、「今日も暑いから、遊ぶなら帽子をかぶって行くように」とよく母親に言われていた。しかし、今は猛暑が当たり前の夏となっている。



日本気象協会によると、2024年の夏(6~8月)の日本の平均気温は、2023年の夏とならんで観測史上1位の高温であったそうだ。猛暑日地点数の積算も2010年以降で最多を記録したという。世界でも至る所で猛暑となっていて、中東のサウジアラビアではイスラム教徒が聖地メッカを一齐に訪れる大巡礼の「ハッジ」が、気温が50℃を超える猛暑のなか行われ、熱中症などにより1,300人以上が死亡している。また、メキシコの東南部の熱帯雨林では83頭ものサルが暑さで木から落ちて死んでいるのが発見されたり、アマゾン川の一部が干上がって住民は船を引いて川を渡らなければならないという想像を絶する報道もある。

この猛暑の原因は、最近よく耳にする地球の温暖化とエルニーニョ現象であり、これらは最近大きな被害をもたらしている豪雨や洪水を引き起こす原因にもなっているという。熱波や高温の原因に詳しい専門家らは、この記録的な暑さは今後更にひどくなる可能性があり、猛暑への対策を早急に立て始める必要があると警告している。今年のオリンピック競技大会の開催地であったフランスのパリでは、気温50℃という設定のシナリオで都市設計を始動させているという。さすが「少子化問題」にもいち早く取り組みをみせた国である。

日本はというと、なかなかハード面ではフランスまでとはいかないが、気候変動への意識改革の一環として「打ち水大作戦2024」が開始された。最近の研究では、日差しを遮る覆いや樹木、透水性の路面を導入した地域では気温が10℃も下がることがわかってきた(アラブ首長国連邦での調査結果)。子供の頃に近所のおばさんが暑い日には決まって水撒きをしていたのをよく目にしたが、この打ち水には、アスファルトやコンクリートに熱がたまり都市部が暑くなるヒートアイランド現象への対策に大きな効果があるようだ。自分たちにできる気候変動への対策として、季節を問わず、晴れて暑い日があれば打ち水をするを休日の日課の一つにしては如何であろうか。

(船橋公彦)

顧問 森岡恭彦 武藤徹一郎 今村正之 山崎洋次 幕内雅敏
名川弘一 亀岡信悟 國土典宏 幸田圭史 佐野 武
編集 長谷川 潔 船橋公彦 山下裕玄

臨床雑誌 外 科	第86巻 第12号 (11月号)	2024年11月1日発行 (1092号)
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目42番6号	小 立 健 太
印刷所	東京都千代田区飯田橋二丁目15番5号	日経印刷株式会社

発行所 ☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 (営業) TEL 03-3811-7239 : 振替口座 00120-1-149 番
株式会社 南江堂 (編集) TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 <https://www.nankodo.co.jp/>

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: ☎ 113-0033 東京都文京区本郷5丁目24番6号本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036